

中学校の国語科の先生方へ



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の国語の平均点は、58.2点

正答率が高かった問題は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」です。特に「文語のきまり」「漢字の読み書き」「語句の文脈上の意味」の問題では、基礎的・基本的な言語事項の定着が図られています！



正答率<sup>( )</sup>の低かった問題を見てみましょう！

< 文学的文章 > では...

登場人物の言動の意味を考え、自分の考えをまとめる問題が、54.0%  
文章の構成や展開、表現の仕方について評価する問題が、56.3%  
登場人物の言動の意味をまとめる力や、表現の効果を評価する力が不足

登場人物の心情の変化を読み取るだけでなく、表現の仕方を分析したり、その効果について考えたりする活動を取り入れましょう！

< 説明的文章 > では...

文章の構成や展開、表現の仕方について評価する問題が、19.8%  
文章の論理展開について、自分の考えをまとめる問題が、50.8%  
文章の構成や展開を評価する力や、文章の論理展開をまとめる力が不足

段落ごとの内容を把握するだけでなく、段落相互の関係を読み取り、筆者の思考の流れに沿って、文章全体の論理構造をとらえる活動を取り入れましょう！

< 活用問題 > では...

論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して文章をまとめる問題が、36.6%  
考えが効果的に伝わるように、説明や具体例を加えてまとめる問題が、23.0%  
資料を適切に引用する力や、効果的な具体例を加えてまとめる力が不足

単に自分の意見や考えをまとめさせるだけでなく、課題解決のプロセスで、適切な資料や文献を活用して、説得力のある文章を書かせる活動を取り入れましょう！

< 古典 > では...

古典に表れたものの見方や考え方に触れ、その思いを想像する問題が、33.1%  
歴史的背景などを踏まえつつ、古典の世界に親しむ問題が、53.3%と21.1%  
登場人物の思いを想像する力や、古典の世界に親しむ態度が不足

古典を読むための知識や技能を定着させるだけでなく、古典の現代語訳や関連する文章、映像メディア等を用いて親しみを持たせるような工夫をしましょう！



日々の授業が変われば、生徒の学力は身に付きます！  
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！  
詳しい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

( )正答率については、合格者5,037人の中から、無作為に抽出した650人(12.9%)分のデータです。

